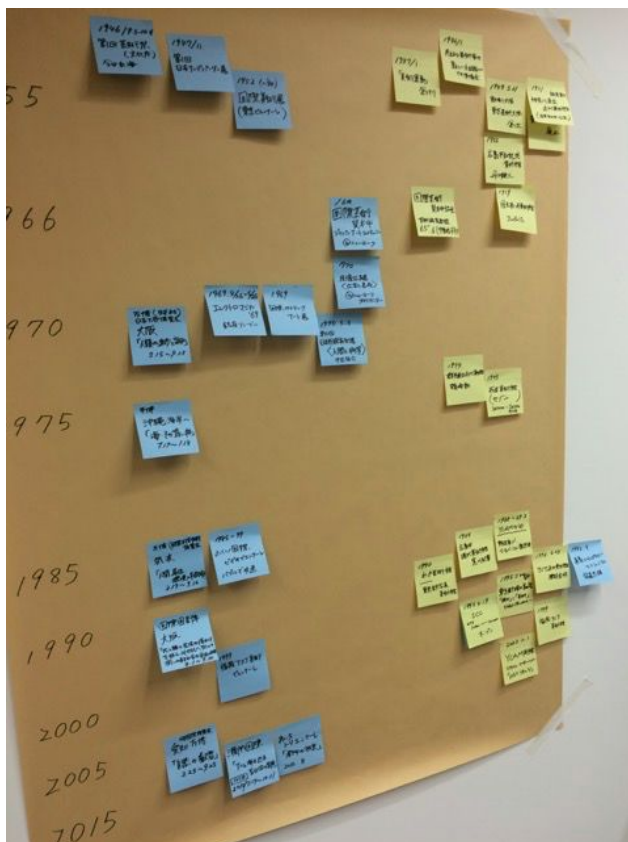


・日本の近現代史勉強会／ワークショップの開催
(2015.6月～2015.10月、不定期で計9回程度開催)

戦後70年という年にあたり、IAMAS学生有志数名とともに戦前～戦後年表の制作を行った。大垣市における戦争体験の共有の可能性を探る意味で、2015年8月7日には、高木正一さん（空襲体験を語りつぐ大垣の会事務局次長）をゲストに、松本篤さん（NPO法人REMO記録と表現とメディアのための組織）と共同でワークショップを行った。



(年表制作の様子1)



(年表制作の様子2)



(年表制作の様子3)

・ 大垣北高で発見された戦前映像記録における当事者への調査取材
(2015.5月～2015.10月まで計8回程度、松本篤さんとの共同作業)

大垣北高で発見された戦前の大垣女高の勤労奉仕映像の16ミリフィルム記録をもとに、そのフィルムに写っていたとされる卒業者の調査のためインタビューと映像記録をおこなった。



(インタビューの様子)

・大垣の戦争体験を語り継ぐ会の映像記録

上記2015.8.7の近現代史ワークショップ企画のリサーチとして、戦争体験を語り継ぐ大垣の集いの映像記録を行った。



(映像記録より抜粋)

・沖縄米軍基地周辺騒音のフィールド録音と研究者、当事者への取材 (2015.11月15日～25日)

沖縄米軍基地周辺での飛行騒音のフィールド録音およびリサーチをおこなった。

主なリサーチ・活動内容

- 騒音問題の研究者のインタビュー
- 宜野座村でオスプレイの騒音被害にあわれている方のインタビュー
- 普天間基地周辺でのオスプレイの飛行音のフィールド・レコーディング
- 琉球大学教育学部の先生、地域のアーティストとの意見交換と交流



(フィールド録音の様子)

・「オスプレイの音」体験&報告会の開催

実際に普天間基地周辺で録音されたオスプレイ等の離陸騒音の再現と、騒音公害の研究者や訓練場周辺に暮らす方のインタビュー記録を交えながら、基地騒音と隣合わせの日常について考えるための報告会を行い、参加者と意見交換と交流をおこなった。

日時：2016年1月31日 14:00 - 15:30

場所：土川商店ギャラリースペース（揖斐郡池田町）

参加人数：25名



(報告会の様子)

・「オキナワ・ノイズ・マップ」の制作 (2016.2～)

沖縄県基地周辺でフィールド・レコーディングされた再現性の高い飛行騒音をCesiumおよびGoogleMap上にマッピングし、基地周辺の騒音環境をWEB上で体感できるプロジェクト「オキナワ・ノイズ・マップ」の制作にとりかかる。M1松野峻也（プログラミング）、フィールド・レコーディング（M1具志堅裕介）らの協力を得る。



(オキナワノイズマップ画面)

・大垣市赤坂、金生山周辺環境の映像による記録

金生山周辺の人々の営み、自然環境の変化などを共有すべく、不定期かつ継続的に映像記録をおこなっている。



(映像記録より抜粋)



(映像記録より抜粋)

・日本画家、野原桜州の作品の写真記録

岐阜県揖斐郡池田町の土川修平さんが所蔵する、明治～昭和期の日本画家、野原桜州（のはら おうしゅう）の作品50点ほどの写真記録と整理をおこなった。

（以下、数点抜粋）



・ICCインターコミュニケーション・センター『OS10 アートとメディア・テクノロジーの展望—ICCオープン・スペース10年の記録』への寄稿 「閉じたループの外へ」（2016年3月発行）

・書作家、岩瀬崇（いわせたかし）個展「であう」において、作家本人と対談（2016年3月13日 19:00-20:30 @ビッカフェ、岐阜市柳ヶ瀬）

以上